

経営比較分析表（令和6年度決算）

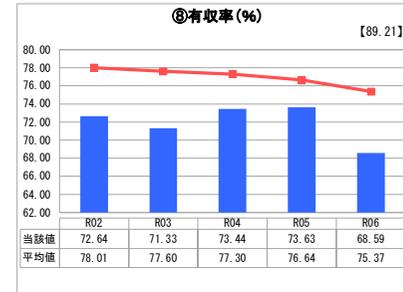
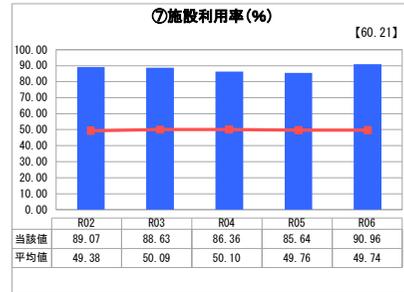
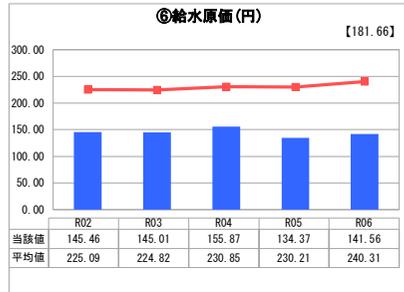
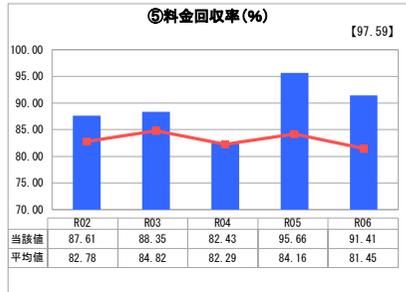
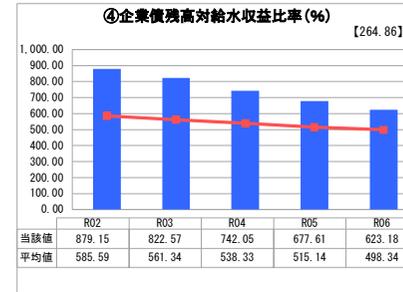
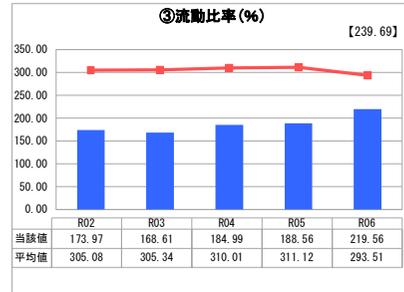
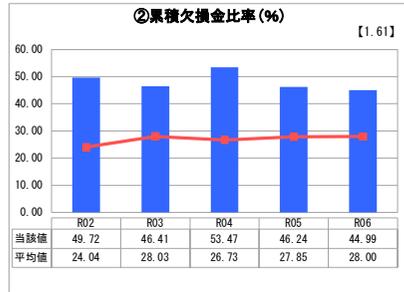
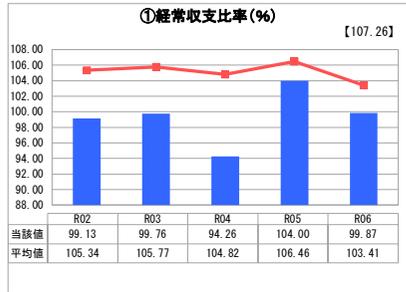
和歌山県 印南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	64.10	98.45	2,440	

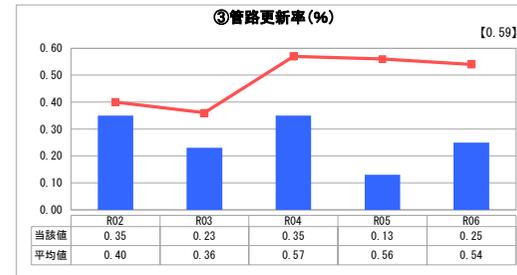
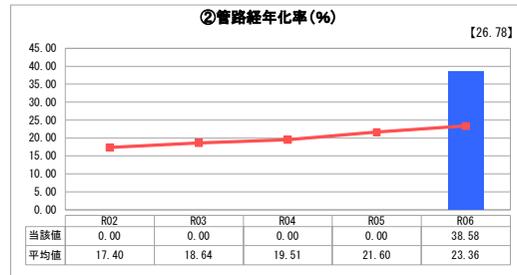
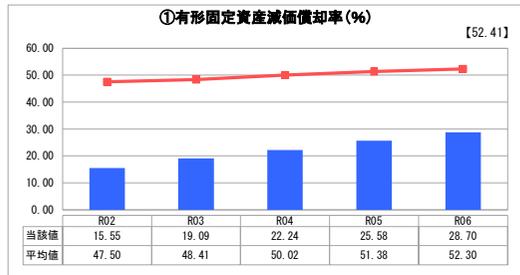
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,636	113.62	67.21
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
7,485	65.00	115.15

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を下回っており、経常費用が経常収益で賄われていない。
- ② 累積欠損金比率
前年度より微減だが、継続的に未処理欠損金が生じており、早期に経営健全化に取り組まなければ今後も増え続ける可能性がある。
- ③ 流動比率
100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力は有していると言える。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
減少傾向にあるが、類似団体及び全国平均と比べると高い数値となっている。
- ⑤ 料金回収率
100%を下回っており、給水に係る費用が給水収益で賄われていない。
- ⑥ 給水原価
前年度より微増であるが、類似団体及び全国平均と比べると低い数値となっており良好である。
- ⑦ 施設利用率
前年度から微増、例年高い数値となっており適切な施設規模であると言える。
- ⑧ 有収率
前年度から大幅減、類似団体及び全国平均と比べると低い数値となっているが、令和7年度より漏水調査を実施、有収率の向上に努めている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
法適用を行った際にそれ以前の減価償却累計額を引き継がずゼロとしたため、数値が低く老朽化は進んでいないように見えるが、実際は供用開始から60年以上が経過しており施設の老朽化は進んでいる。
- ② 管路経年率
類似団体及び全国平均と比べると高い数値となっており、今後も法定耐用年数を超えた管路延長の割合が増えていくことが見込まれる。
- ③ 管路更新率
前年度より微増だが、類似団体及び全国平均と比べると低い数値となっている。経営戦略の投資目標である管路更新率2.8%を達成するためには財源の確保が必要である。

全体総括

経常収支比率及び料金回収率ともに100%を下回っており、今後も原価の削減に取り組むとともに、管路及び施設等の更新、人口減少や物価上昇を加味した適切な料金設定の検討を行い給水収益の確保が必要である。